



平成31年3月15日

報道機関 各位

東北大学病院
株式会社メドレー

**てんかんオンラインセカンドオピニオン外来を開始
-全国どこでも自分のPC・スマートフォンから、専門的相談が可能に-**

【発表のポイント】

- ・てんかんのオンラインセカンドオピニオン外来は、国立大学病院としては初の試み。
- ・株式会社メドレーのオンライン診療システム「CLINICS」^{注1}を使用する。
- ・患者はあらかじめ、「CLINICS」の専用アプリのダウンロード、または web サイトにてユーザ登録を行う。
- ・インターネットを介した診療は最長 1 時間。診察結果はかかりつけ医に戻される。
- ・処方箋発行など直接的な医療行為はオンラインでは実施しない。
- ・費用は 1 回 43,200 円（消費税込み）を予定。支払いはクレジットカードによる。
- ・本事業により、専門的診療を受けにくい患者の実体を把握し、我が国のてんかん診療体制の見直しを図ることが期待される。

【概要】

東北大学病院てんかん科（宮城県仙台市、病院長：八重樫伸生、てんかん科長：中里信和）では、株式会社メドレー（東京都港区、代表取締役医師：豊田剛一郎、代表取締役社長：瀧口浩平）が提供するオンライン診療システム「CLINICS」を用いて、てんかんオンラインセカンドオピニオン外来を自由診療の枠組みの中で開始します。診療の受付開始は 4 月 1 日、診療開始は 5 月 8 日の予定です。

本事業により、我が国におけるてんかん診療体制の問題点を明らかにし、得られた経験を日本てんかん学会などの専門医団体や厚生労働省などと共有することによって、将来的な診療体制全体の見直しを図ることが期待できます。

【背景と目的】

てんかんとは、一時的な脳の興奮現象（＝てんかん発作）を繰り返す慢性的な脳の疾患であり、原因も多岐にわたり、発作症状も患者ごとに異なる多彩な疾患です。有病率は約1%で、患者数は全国で約100万人と推定されます。てんかん患者全体の約7割の患者は薬で発作が抑制され、薬が無効な場合でも外科治療の道があります。しかし、最新診療を受ける機会のない患者も少なくありません。加えて、種々の合併症や、患者と家族の疾患への誤解や社会の偏見などから、発作以外の悩みも多い疾患です。

東北大学病院では日本の大学病院として初の「てんかん科」を2010年3月に設置し、専門医や高度な機器を利用しての「新患1時間外来」や「2週間精査入院」を組み合わせつつ、非てんかん性疾患との鑑別、適切な薬剤選択、外科治療、心理社会評価を組み合わせる最新の診療を提供しています。受診する患者は宮城県や東北地方だけでなく、北は北海道から南は九州・沖縄まで、全国に広がっています。患者本人だけでなく家族も同席しての診察が必須であるため、患者側の経済的負担もきわめて大きいのが現状です。

今回実施する「てんかんオンラインセカンドオピニオン外来」では、医療機関の不足や偏在による患者の受診機会の減少や経済的負担の解消を図るための、オンライン診療という新技術の可能性を探ることにあります。

東日本大震災後は、被災地にある気仙沼市立病院（宮城県気仙沼市）をオンライン会議システムで連結し、『“Doctor” to “Doctor & Patient”形式』による専門的てんかん遠隔外来を2012年3月から現在まで継続してきました。これによって患者や家族は片道3時間をかけての通院することなく、専門的診療を受けることができ、薬物治療の変更や、入院精査、あるいは外科治療に結びつく症例があり、最新技術を利用しての地域医療の向上という点からも、高い評価を受けてきました。

しかし全国には、専門治療を受ける機会のない患者が数多く存在しています。現在、東北大学病院てんかん科を受診希望する患者は多く、平均3～4ヵ月待ちの状態です。この状況を解決するには、東北大学病院での患者数を増やすだけでは到底、不可能であり、全国規模での専門医・専門施設の育成が必要であり、また、かかりつけ医と専門施設との連携体制強化が必要です。

今回、東北大学病院てんかん科では、これまでの専門的診療と被災地支援の遠隔てんかん外来の経験をベースとして、てんかんオンラインセカンドオピニオン外来を開始することを決断しました。

【事業の詳細】

本オンライン診療を希望する方は、あらかじめ「CLINICS」の専用アプリのダウンロード、またはwebサイトにて個人としてのユーザ登録が必要です。その際、支払いに必要なクレジットカードの情報も入力します。東北大学病

院てんかんオンラインセカンドオピニオン外来に申込んだのち、かかりつけ医に依頼して紹介状や脳波、画像検査の情報をあらかじめ東北大学病院地域医療連携センターに郵送してもらいます。東北大学病院てんかん科の専門医は、受け取った紹介情報に基づいて、診察予約の当日、インターネットを通じて患者や家族に問診を行います。診療後は、診察結果をセカンドオピニオンとしてかかりつけ医に戻します。治療方法の変更を直接指示することはなく、また処方箋の発行も行いません。患者は後日、かかりつけ医を受診し、最終的な治療方法について説明を受けることになります。

オンライン診療の診察時間は最長1時間です。保険診療の適応外となるため、診察費用は1回につき43,200円（消費税込み）程度で、クレジットカードで支払います。当面は医師2名により、年間25回程度の診療枠からの開始を予定しています。

本事業により、我が国におけるてんかん診療体制の問題点を明らかにし、得られた経験を日本てんかん学会などの専門医団体や厚生労働省などと共有することによって、将来的な診療体制全体の見直しを図ることが期待できます。

【問い合わせ先】

東北大学大学院医学系研究科
てんかん学分野

担当 中里 信和 ・ 神 一敬

電話 022-717-7343、-7341

E-mail nkst@med.tohoku.ac.jp

(報道に関すること)

東北大学病院広報室

電話番号:022-717-7149

Eメール:pr@hosp.tohoku.ac.jp

株式会社メドレー

コーポレート本部 採用広報部

広報担当電話番号:03-4520-9822

Eメール:pr@medley.jp

注 1: オンライン診療システム「CLINICS」

「CLINICS」は、予約や事前問診、ビデオチャットでの診察、決済や薬・処方せんの配送までオンラインで完結することのできるオンライン診療システムです。患者は手持ちの PC やスマートフォンを用いて、自宅や会社にいながら診療を受けることができます。2016年2月の提供開始以来、全国1200を超える医療機関に導入されています(2019年2月現在)。対面診療と組み合わせることで、主に慢性疾患における通院継続を支援できることから、「かかりつけ機能」の強化に有効であると考えられ、クリニックを中心に普及が進んでいます。

<https://clinics.medley.life/>



オンライン診療システムを用いた診療のイメージ